

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 4 年 3 月 11 日

事業所名 療育支援サカセル 愛宕教室

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○			
	2 職員の配置数は適切である	○		配置基準を満たしています。今後、更なる増員を図っています。	
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○		室内外の階段には手摺を設置し、外階段にはセンサーライトを取り付け、段差には一部カラーテープを設置しています。段差移動の際には必ず職員が付き添うことを徹底しています。	
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○			
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		職員全員で内容を確認し、認識の統一を徹底しています。必要に応じて改善や見直しを図ります。	
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○			
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		現在は実施していませんが、今後必要に応じて検討していきます。
適切な支援の提供	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		研修機会の情報を集め、積極的に参加しています。	
	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○			
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○			
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	○			
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		SSTの様々な劇の内容を取り入れることで、固定化しない更なる実践に基づいた支援を行っております。	
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○			
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○			
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		毎朝必ずミーティングを実施し、会議記録を残しています。職員の意識の統一化と支援に繋げられるように行っています。	
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○			
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○			
18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○				
19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○				

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○			
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○			
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		○		現在は対象児童の利用はありません。必要な場合は、看護師等の配置の検討をします。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている		○		必要に応じて連携を図っていきけるよう努めてまいります。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している		○	障がい者就労継続支援事業所を運営しているため、社内での情報共有・連携体制を整えています。	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		様々な専門機関の研修を積極的に受講しています。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		○		新型コロナウイルスの状況を見ながら、今後関わる機会を作れるように企画検討予定です。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	○			
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		送迎時やお電話にて状況報告と連絡ノートでのやりとりを通じて、共通理解を深めています。	
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	○		研修等へ積極的に参加し、知識と理解を深め、支援に活かせるよう努めています。		
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○			
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○			
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○		新型コロナウイルスの状況を見ながら開催を検討していきます。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○			
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		不定期にSNSでの発信や、月1回お便りを発行し、行事参加者には詳細をお便りにて発行しています。	
	35	個人情報に十分注意している	○		書類は鍵付きのキャビネットにて管理し、データは自社サーバーにて管理しているため、個人情報には十分注意しています。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○			
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○	地域行事には以前から機会があれば参加してきましたが、今後も積極的に参加する予定です。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○		見学や契約時に周知を行っています。	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		年に複数回、最低でも半年に一回のペースで訓練を行っています。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		職員全員で研修参加し、虐待防止に関する認識統一に努めています。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○			
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		○		必要に応じて保護者様と連絡を取り確認しています。食物アレルギーについての研修も参加予定です。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		ヒヤリハット報告書を職員全員で定期的に見直し、再発防止に努めています。教室でヒヤリハットの起きそうな状況の認識を職員間で共有しています。	